

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923

今年の夏も暑くなる？ 家畜の暑熱対策について

気象庁発表による関東甲信地方の3か月予報(7月から9月)では、気温が平年並みかそれ以上の確率が80%と、今年の夏も暑くなりそうです。

夏場の暑熱は家畜の生産性に大きな影響を与えるだけでなく、暑さによる体力の消耗などにより、秋口の涼しくなる時期に大きな病気の原因となることがあります。

家畜が快適に夏を越せるよう、今年も暑熱対策について考えましょう。

暑熱の影響

| | | |
|---|------|--|
| 牛 | 乳用牛 | 採食量や反芻行動の減少、乳量の低下、乳房炎の増加など。 |
| | 繁殖雌牛 | 採食量の低下・受胎率の低下など。 受精後7日以内、特に4日間の平均湿度が暑熱期の受胎率に影響を与えるようです。 |
| | 肥育牛 | 採食量の低下、増体量および体内のビタミンA濃度の低下。 ビタミンA欠乏が進行すると採食量低下も加わり、増体量が低下してしまいます。 |

| | | |
|---|-----|----------------------------------|
| 豚 | 繁殖雌 | 発情の微弱・遅延、排卵数の減少、死産の増加、生時体重の減少など。 |
| | 種雄豚 | 交尾欲の減退、造精機能の低下、精液性状不良による受胎率低下など。 |
| | 肥育豚 | 発育停滞、食欲減退など。 |

| | | |
|---|-----|-------------------|
| 鶏 | 採卵鶏 | 産卵率の低下や卵重の低下など。 |
| | 肉用鶏 | 死廃率の増加や飼料効率の低下など。 |

基本的な暑熱対策

一般的な対策

効率的な換気

畜舎の窓を開けたり換気扇を利用して換気しましょう。風の通り道にある障害物の除去や、畜舎周囲の草刈りなどで風通しをよくしましょう。人間の視点だけでなく、家畜の視点(床の近くなど)で換気を確認しましょう。気温が下がる夜間の換気も効果的ですが、気温の急変に注意しましょう。

日ざし対策

緑化や日陰を作って照り返しを防ぎましょう。寒冷紗やすだれで西日を防ぎましょう。ただし換気を妨げないように注意しましょう。屋根の散水や屋根を白く塗ることも効果的です。

給水

冷たくて新鮮な水が十分に飲めるようにしましょう。

ビタミンやミネラルの補給

ビタミンやミネラルの消耗が激しくなりますので、必要に応じてこれらを飼料に添加しましょう。

畜種別の対策

牛 毛刈り: 乳牛では全身の毛を短く刈ってやることで、放熱が促進されます。

飼料給与: 消化性の良い良質な飼料を給与しましょう。可能ならば涼しい時間帯に給与し、採食量の低下を防ぐために給与回数を増やすことも効果があります。

細霧装置: 湿度に注意して使いましょう。湿度が高いときは逆効果です。換気に注意して床などをできるだけ乾いた状態に保ちましょう。

豚 飼育密度: 豚は体温の放熱が激しいので、密飼いでは環境が悪化します。ストレスを避け、疾病の発生を防ぐためにも適正な飼育密度を保ちましょう。

ペットボトル: 2L ペットボトルに水を入れ凍らせて、分娩豚の肩の上に逆さにつるします。溶けた氷水が少しずつ滴下し、体温が下がります。検討してみたいかがでしょうか。

細霧装置: 湿度に注意して使いましょう。湿度が高いときは逆効果です。換気に注意して床などをできるだけ乾いた状態に保ちましょう。

鶏 飼育密度: 暑さに対応できる適切な飼育密度を保ちましょう。

換気: とくにウインドレス鶏舎では、適切な換気と温度調節に注意しましょう。

家畜の行動を良く観察し、異常家畜の早期発見・早期治療に努めて生産性の低下を防止しましょう。万が一、暑熱被害が発生した場合は、家畜保健衛生所までご連絡をお願いします。

問い合わせ・連絡先 長野家畜保健衛生所 環境指導課(担当: 船田 忠志、小林 千恵)
電話: 026-226-0923 ファクシミリ: 026-227-2665 E-mail: nagakachiku@pref.nagano.jp